

宝塚市協働のまちづくり推進条例の検証の進め方

【用語の省略】

宝塚市まちづくり基本条例(以下「基本条例」という。)、宝塚市協働のまちづくり推進条例(以下「推進条例」という。)、協働の事例集(以下「事例集」という。)、協働のマニュアル(以下「マニュアル」という。)、協働の指針(以下「指針」という。)

★推進条例の検証までの一連の流れ

	TODO	ゴール(目的)
【STEP1】 全体像を把握	①基本条例・指針の読み合わせ	推進条例及びマニュアルに関連する資料の全体像を把握する。
	②推進条例の読み合わせ	推進条例の全体像を把握する。
	③マニュアルの読み合わせ	マニュアルの全体像を把握する。
【STEP2】 現状の把握	④事例集(6 事例)の検証	更新した事例(6 事例)の良かったポイント等を抽出し、整理・集約する。
	⑤マニュアルの検証	④で集約したポイントを 7 つのステップと照らし合わせながら、マニュアルへの反映を検討する。
	⑥市民と市の協働のまちづくりの状況の確認	市民と市の協働のまちづくりの状況を市から情報提供し、確認する。
【STEP3】 必要な対応の検討	⑦状況に応じた必要な対応の検討	①～⑥を踏まえ、必要な措置の可否を検討する。

★推進条例の検証のルール

会議の初めには毎回フローチャートの確認及び今日の流れとゴールの確認を行い、終わりには次回以降の流れについて確認を行うこととする。

① 基本条例及び指針の読み合わせ [5/12 実施済]

1. 基本条例及び指針の説明
2. 意見交換
◎全体像を把握したうえで、意見交換を行う。

② 推進条例の読み合わせ [6/26 実施予定]

1. 推進条例策定の背景及び経緯の説明
2. 条例全体の構成について説明
3. 条例の読み合わせ
◎条例の説明資料を基に各条文ごとにポイントの解説を行う。
4. 意見交換
◎全体像を把握したうえで、意見交換を行う。
※この時点では、推進条例の内容や認識について意見交換を行う。具体的な事例の話し合い等は⑥で行う。

③ マニュアルの読み合わせ [8/4 実施予定]

1. マニュアルの読み合わせ

◎7つのステップごとに記載内容についての読み合わせを行う。

※7つのステップは指針に基づいているため、関連付けながら行う

2. 意見交換

◎全体像を把握したうえで、意見交換を行う。

④ 事例集の検証（更新した6事例）[9/18 実施予定]

1. 【事前課題】各事例の良かったポイント等の抽出（個人ワーク）※8/4 課題提示

◎各自で事例の良かったポイント等の抽出を行う。

2. 良かったポイント等の集約・整理（グループ）

◎グループに分かれて各事例の良かったポイント等について個人ワークをもとに意見交換を行い、グループとして集約・整理を行う。

3. 良かったポイント等の集約・整理（全体）

◎2での集約・整理結果を基に全体で意見交換を行い、全体として良かったポイント等の集約・整理を行う。

⑤ マニュアルの検証 [11 月実施予定]

1. 事例集のポイントの分類

◎④-3で集約したポイントが、7ステップのどこに関連するものかを確認する。

2. マニュアルへの反映検討

◎7つのステップごとに関連するポイント（1での確認内容）と照らし合わせながら、マニュアルへ反映すべき要素について意見交換を行う。

※反映方法、具体的な内容については翌年度以降に行うため、反映すべき要素と簡単な内容についてまでの意見交換にとどめる。

◎③-2で意見のあった気になる点についても併せて確認する。

⑥ 市民と市の協働のまちづくりの状況を確認【●月実施予定】（8月以降情報を提示）

1. 協働のまちづくりの状況確認

◎市民と市の協働のまちづくりの状況を市から情報提供し、確認する。

⑦ 状況に応じた必要な対応の検討【●月実施予定】

1. 必要な対応の検討

◎⑥で市民と市の協働のまちづくりの状況を確認したうえで、①～⑤を踏まえて意見交換を行い、第1条の設置目的にかなったものとなっているかどうかを確認し、必要な措置の要否について検討する。